

インドネシアの首都ジャカルタで相次いで大型書店がオープンしている。国内書店大手グラメディアは昨年末には三万点の書籍をそろえた東南アジア最大級の店舗を完成、紀伊国屋書店も昨年四店舗目を開店した。今の売れ筋は一月二十七日に死去したスハルト元大統領の伝記物と日本の漫画本のインドネシア語版で一種のブームになっている。

アジヤ 小売り見聞

ジャカルタに相次ぎ大型書店



相次ぎオープンした大型書店ではスハルト本が人気

同社は国内に七十店舗を擁しているが、マトラン店は約七千平方メートルの敷地に地上四階建ての建物からなる国内最大の書店だ。

一階は事務用品、二階以上は雑誌や小説、漫画、児童書のほか、音楽CDやDVDなども並ぶ。軽食店も併設され、土日には五千人以上が押し寄せ

には本好きのユドヨノ大統領もわざわざ駆けつけ、自身の英語版の著書

店内には検索システムを搭載した複数のパソコンも置かれ、在庫の確認も容易。窓際にはいすも

日本のマンガも人気

配置され、ゆっくりとお目当ての本を探することができる。一方で、経済発展に貢

今一番の売れ筋はユドヨノ大統領の著書ではなく、スハルト元大統領の伝記物。「ライフ・アンド・レガシー」など十以上の作品があるが、「スハルト氏が亡くなる前後から売り上げが急伸びた」（同社）として特設コーナーも設けた。

貧しい農村に生まれながら、陸軍で異例の出世をとげ、スカルノ初代大統領から実権を奪い、三

十年以上にわたって独裁者として君臨。数々の人権侵害や汚職に手を染め

「開発の父」と呼ばれる一方、経済発展に貢

スハルト政権が崩壊して今年で十年。過去の人

中国語版。他のアジア諸国や欧米同様に日本の

途上国インドネシアは依然識字率が低い